

平成 24 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金
 (地域公共交通調査事業) 交付申請事業

補助対象事業者名 美濃市地域公共交通会議 (単位: 円)

補助対象事業の 名称及び内容	補助対象事業の着手 及び完了予定日	補助対象経費	補助金額
(名称) 美濃市地域公共交 通計画策定事業 (内容) ・ 現況交通実態調 査 ・ 市民及び利用者 ニーズ把握調査 ・ バス利用者アン ケート調査 ・ 実証調査 ・ 地域公共交通計 画策定のための調 査	着手予定日 : 交付決定日の翌日 完了予定日 : 平成 25 年 3 月 31 日	8,232,000 円	5,000,000 円

(添付書類)

- (1) 地域公共交通調査事業の実施に関する計画
- (2) 補助対象経費に係る見積書
- (3) その他補助金の交付に関して参考となる書類

地域公共交通調査事業の実施に関する計画

1. 当該地域の公共交通の概況・問題点

美濃市内ではコミュニティバスを運行しているが、高齢化が著しく進む中、さらなる公共交通の利便性が求められている。しかし、当市は山間部の集落の多くが行止りで隣接する集落へ通り抜けることが困難であり、また、生活道路の多くの幅員が5メートル以下であるため、これ以上のコミュニティバスの充実は困難ではないかと考えている。

また、市議会や住民からもデマンドタクシー導入を求める声もあり、現在市民懇談会を開催し、住民ニーズの把握に努めている。

交通事業者が運行している市内バス路線についても利用者が大幅に減少し、廃止及び撤退の申し入れがあり、代替の交通手段の確保が必要である。

なお、長良川鉄道及び路線バス、タクシーについても少子化等による人口減少に伴い利用者が減少しており、都市間交通を維持及び確保していく必要がある。

2. 地域の公共交通の確保維持改善に係る計画の策定調査の必要性

コミュニティバス等の利用者数調査やアンケート調査は実施しているものの、デマンドタクシー導入検討に当たって、詳細な現況交通実態及び住民及び利用者ニーズを把握するための調査を実施し、地域内公共交通と長良川鉄道、路線バス並びにタクシーとの連携、相互の利便性が向上、維持確保していくための地域公共交通計画を策定していく必要がある。

市内全域での導入に際してデマンドタクシーの課題や問題点を把握するため、また、経費算出のデータを得るために一部地域で実証調査を実施する。

また、関市と共同運行している自主運行バス「牧谷線」についても見直し等を関市と美濃市が協議を進めており、合わせて実態等を把握に努める。同様に「高美線」も一部廃止が見込まれ、美濃市及び関市の特に通学移動手段の確保に向けて実態等を把握する。

これらの調査を行うことにより、次年度以降フィーダー系統による交通ネットワーク計画に向けての検討をしていく。

3. 調査の内容	
調査の名称	調査の内容
1. 現況交通実態調査	① 都市機能特性 ② 公共交通の現状 ③ 公共交通機関（バス）利用状況
2. 市民及び利用者ニーズ把握調査	① バスに関する市民意向調査（住民懇談会、市民意識調査等） ② 日常生活における移動需要調査 ③ 地域公共交通の検証と課題整理
3. バス利用者アンケート調査	① バス乗り込み調査（路線バス、コミュニティバス、市街地循環線） ② 既存アンケート調査結果の整理
4. 実証調査	① デマンドバス調査 ② 実証調査の検討（対象地区の抽出、運行形態・方針の検討） ③ 評価手法の検討（評価・検証） ④ 地区住民アンケート調査
5. 地域公共交通計画策定のための調査	① 地域公共交通基本方針決定 ② 地域公共交通計画の検討 ③ 計画実施に向けての検討

4. スケジュール				
以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印（←→）、または横棒線（——）で記載。				
調査の名称	4月	9月	12月	3月
1. 現況交通実態調査		①→ ②→ ③→		
2. 市民及び利用者ニーズ把握調査		①→→ ②→→ ③→		
3. バス利用者アンケート調査		①→→ ②→→		
4. 実証調査	①→ ②→→→→		③→→	
		④→→→→→		
5. 地域公共交通計画策定のための調査		①→→ ②→→→		③→→→→ (H25.4 実施)